

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-271765

(43)Date of publication of application : 06.11.1990

(51)Int.Cl.

H04M 3/42

(21)Application number : 01-093425

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 12.04.1989

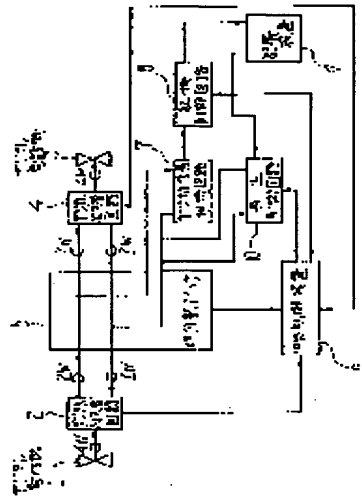
(72)Inventor : HISANAGA KOJI
NAKATSUBO ISAO

(54) VOICE INFORMATION STORAGE SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To realize sure transmission of information by storing, reproducing and sending content of an important call at a point of time earlier than a real time talking depending on the will of a caller subscriber.

CONSTITUTION: Digital telephone sets 1, 3 sending and receiving voice information and a control signal are accommodated in a time division switch 5 via digital subscriber circuits 2, 4. The switch 5 is controlled by a central controller 8 to close and open a speech line between digital subscriber circuits. A digital signal storage circuit 7 stores voice information from the circuit 2 to a storage device 9 via a storage control circuit 8. The circuit 8 starts and stops the storage of voice information by a command from the controller 6. Moreover, the circuit 10 reads the voice information in real time from the device 9 by a command from the controller 6 and sends it to the telephone sets 1, 3 via the switch 5. Furthermore, the caller subscriber checks the importance of the talking content to operate a function key of the telephone set 1, then the information of an optional time desired by the caller subscriber is stored in the device 9.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑪ 公開特許公報(A)

平2-271765

⑫ Int.Cl.³

H 04 M 3/42

識別記号

J
Z

庁内整理番号

7925-5K
7925-5K

⑬ 公開 平成2年(1990)11月6日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 音声情報蓄積方式

⑮ 特 願 平1-93425

⑯ 出 願 平1(1989)4月12日

⑰ 発 明 者 久 永 光 司 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑱ 発 明 者 中 坪 功 岩手県一関市柄貝1番地 東北日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称

音声情報蓄積方式

特許請求の範囲

デジタル加入者回路を介して音声情報および制御信号のデジタル信号を送受できるデジタル電話機を収容するデジタル電話交換機において、前記音声情報および制御信号を格納保持する記憶手段と、前記デジタル電話機からの前記制御信号により前記音声情報の格納の開始、停止を制御する記憶制御手段と、前記記憶手段に格納された前記音声情報を前記デジタル電話機からの前記制御信号により読み出して再生させる再生制御手段とを備え、発呼加入者のリアルタイムの音声情報とそれより任意の時間前の音声情報とを被呼加入者に送信することを特徴とする音声情報蓄積方式。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は音声情報蓄積方式に関し、特にデジタル音声情報を蓄積する音声情報蓄積方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のデジタル電話交換機では、発呼デジタル電話機からのリアルタイムの音声情報を記憶手段に格納してこれを再生して被呼加入者へ送信していた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の情報蓄積方式は、リアルタイムで音声情報の蓄積を行う構成になっており、発呼加入者が蓄積したい音声情報の重要性を吟味した上で音声情報の格納の開始を指示するとリアルタイムでしか蓄積できないので、その時点以前の音声情報の欠落が発生することがあるという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の音声情報蓄積方式は、デジタル加入者回路を介して音声情報および制御信号のデジタル

信号を送受できるデジタル電話機を収容するデジタル電話交換機において、前記音声情報および制御信号を格納保持する記憶手段と、前記デジタル電話機からの前記制御信号により前記音声情報の格納の開始、停止を制御する記憶制御手段と、前記記憶手段に格納された前記音声情報を前記デジタル電話機からの前記制御信号により読み出して再生させる再生制御手段とを備え、発呼加入者のリアルタイムの音声情報とそれより任意の時間前の音声情報とを被呼加入者に送信することを特徴とする。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の音声情報蓄積方式の一実施例を示すデジタル電話交換機のブロック図である。

音声情報および制御信号をデジタル信号で送受信する機能を有するデジタル電話機1、3はそれぞれデジタル加入者回路2、4を介して時分割スイッチ5に収容される。デジタル加入者回路2、

4はデジタル電話機1、3と4線式でインタフェースし、時分割スイッチ5とは2線式でインタフェースする。時分割スイッチ5は中央制御装置6に制御されてデジタル加入者回路間の通話回線の閉成、開放を行う。時分割スイッチ5にはデジタル信号保持回路7と再生制御回路10を接続し、デジタル信号保持回路7はデジタル加入者回路2からの音声情報を記憶制御回路8を介して記憶装置9に格納させる。なお記憶制御回路8は中央制御装置6からの指示により音声情報の格納の開始、停止を行う。また再生制御回路10は中央制御装置6からの指示により記憶装置9から音声情報を読み出して時分割スイッチ5を介してデジタル電話機3、1に送信する。

続いて本実施例の動作について説明する。

発呼加入者がデジタル電話機1から入力した音声情報を蓄積したいときは、一般に知られている発呼操作の後、図示していないファンクションキーを操作して蓄積準備信号を送出する。この蓄積準備信号をデジタル加入者回路2を介して中央制

御装置6で受信し、中央制御装置6は時分割スイッチ5を制御してデジタル加入者回路2とデジタル信号保持回路7との間のバスを閉成する。従ってその後のデジタル電話機1からの音声情報はデジタル信号保持回路7に保持される。

ここで、発呼加入者が通話内容の重要性を吟味した上で、音声情報の記憶装置9への蓄積を開始させるためデジタル電話機1の図示していないファンクションキーを操作して情報蓄積起動信号を送出すると、中央制御装置6は記憶制御回路8を動作させて、デジタル信号保持回路7に保持されている音声情報の記憶装置9への格納を開始させる。同様にデジタル電話機1から情報蓄積停止信号を送出すると記憶装置9への音声情報の蓄積動作は停止される。従って記憶装置9には発呼加入者が希望する音声情報蓄積開始点から任意時間の音声情報が蓄積できる。即ち発呼加入者が吟味した重要な通話内容が格納される。

次に、発呼加入者が重要な通話内容を被呼加入者に再度送りたいときは、デジタル電話機1の図

示していないファンクションキーを操作して再生開始信号を送出すると、中央制御装置6は再生制御回路10に指示を与えて記憶装置9から蓄積されている音声情報(重要な通話内容)を読み出して時分割スイッチ5、デジタル加入者回路4を介してデジタル電話機3の被呼加入者に送信させる。従って重要通話内容の被呼加入者への伝達の欠落はなくなる。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、発呼加入者の意思によりリアルタイム通話より前の時点の重要通話内容を蓄積しておいて再生送信することにより、重要通話内容の被呼加入者への伝達の欠落が無くなる効果がある。

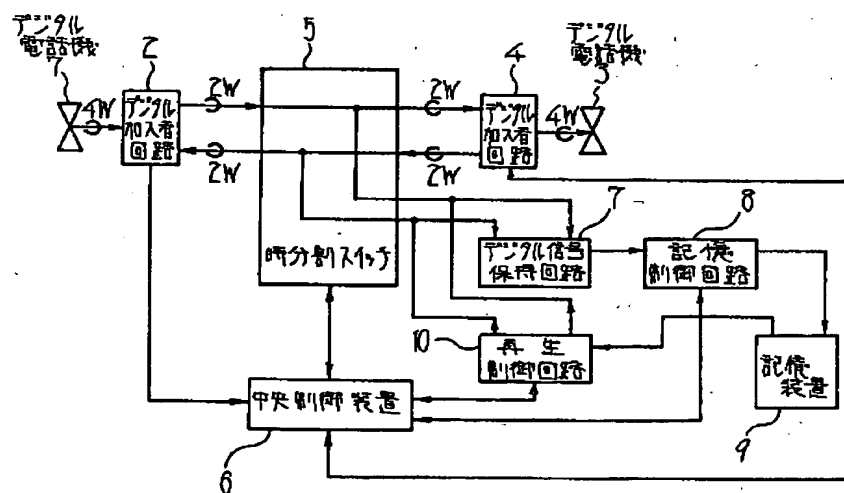
図面の簡単な説明

第1図は本発明の音声情報蓄積方式の一実施例を示すデジタル電話交換機のブロック図である。

1、3…デジタル電話機、2、4…デジタル加入者回路、5…時分割スイッチ、6…中央制御装

置、7…デジタル信号保持回路、8…記憶制御回路、9…記憶装置、10…再生制御回路。

代理人 井理士 内 原 智



第1図